

横浜みどりアップ計画[2019-2023] 5 か年の 実績報告について【情報提供】

1 事業の趣旨

横浜みどりアップ計画につきましては、2009 年度から、横浜みどり税を財源の一部として活用させていただきながら、緑の保全・創出に向けた様々な事業・取組を推進しています。

また、2024 年 4 月からは 4 期目となる新たな 5 か年計画[2024-2028]に取り組んでいます。

このたび、2019 年度から 2023 年度までの 5 か年を振り返り、取組の成果をまとめたリーフレットを作成しましたのでご報告いたします。

2 お願いしたいこと

【区連長】ご承知おきください。

【地区連長】地区連合定例会等で情報提供をお願いします。

【単位会長】単位会長あて資料を送付します。定例会等で情報提供をお願いします。

3 配布資料

- (1) 横浜みどりアップ計画[2019-2023] 5 か年の実績概要リーフレット
- (2) 5 か年[2019 年度～2023 年度]の区別実績
- (3) 「横浜みどり税」の説明チラシ

【問合せ】

横浜みどりアップ計画の広報に関すること

みどり環境局戦略企画課 TEL:671-2712 FAX:550-4093

横浜みどり税に関すること

財政局税務課 TEL:671-2253 FAX:641-2775

効果的な広報の展開

みどりに関するイベントへの出展や、「広報よこはま」等への記事掲載、SNSなど様々な手法を用いて、幅広い年齢層にみどりアップ計画の取組と成果を知っていただけるよう広報を展開しました。



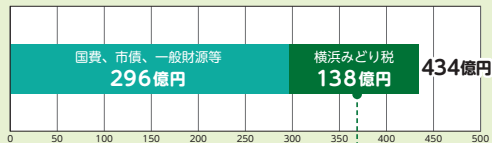
イベントでの広報



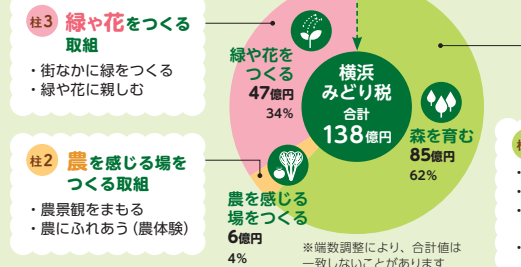
広報よこはま 令和6年3月号

計画の事業費と横浜みどり税(5か年の累計)

5か年(2019~2023年度)の事業費 (うち横浜みどり税)



計画の柱ごとの横浜みどり税活用額



緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、2019年度からの5か年の事業費434億円のうち、横浜みどり税を138億円充当し、市内の樹林地の買取り・維持管理等をはじめとした緑の保全・創出、育成に取り組みました。

横浜みどり税の課税方式

【個人】市民税の均等割に年間900円上乗せ
※所得が一定金額以下で市民税均等割が課税されない方を除く

【法人】市民税の年間均等割額の9%相当額を上乗せ



柱1 森を育む取組

- ・森を残す(指定・買取り)
- ・森を育む(維持管理など)
- ・森を育む人材の育成(活動に対する支援)
- ・森に親しむ(きっかけづくり)

横浜みどりアップ計画 市民推進会議の活動

横浜みどりアップ計画市民推進会議は、公募市民や学識経験者などから構成されている附属機関です。横浜みどりアップ計画の取組の検証や、現地調査を行い、評価・提案を報告書にまとめたほか、広報誌「YokohamaみどりアップAction」を9号発行しました。



Yokohama
みどりアップ
Action



詳しくはHPを
ご覧ください

実績報告書はHPを
ご覧ください。
区ごとの実績もご
覧いただけます。



横浜みどりアップ計画 検索

お問合せ

「横浜みどりアップ計画」の広報について
みどり環境局戦略企画課

TEL 045-671-2712 FAX 045-550-4093

「横浜みどり税」について

【個人市民税】各区区役所税務課または財政局税務課
【法人市民税】財政局法人課税課

TEL 045-671-2253 FAX 045-641-2775
TEL 045-671-4481 FAX 045-210-0481



横浜みどりアップ 葉っぱー

令和6年10月発行 横浜市みどり環境局戦略企画課

横浜みどりアップ計画 [2019-2023]

5か年の実績 概要(2019年度~2023年度の実績)



青葉区寺家町

緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、「横浜みどり税」を財源の一部として活用しながら、「横浜みどりアップ計画[2019-2023]」を実施しました。

このリーフレットは、2019~2023年度に実施した事業の実績を概要としてまとめています。



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月~9月 横浜・上瀬谷



計画の柱1

市民とともに次世代につなぐ森を育む

樹林地の保全が進んでいます

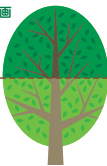
5か年で176.9ha、計画開始以降15年間で新たに1,082.5haの樹林地を緑地保全制度により指定しました。計画開始前は40年間で861.9ha指定しており、3倍以上のスピードで保全が進みました。

これまでのみどりアップ計画(2009~2018年度)

10年間 **905.6ha**

みどりアップ計画以前(1969~2008年度)

40年間 **861.9ha**



2019~2023年度

176.9ha

= 1,082.5ha

▶ 緑地保全制度による新規指定 **176.9ha**

▶ 市による買取り **75.6ha**



下瀬谷特別緑地保全地区/瀬谷区

森に親しむための機会が広がっています

森に親しむことができるように、市民の森などを整備したほか、ガイドマップの作成や子ども向けのイベントを開催しました。

▶ 保全した樹林地の整備 **381か所**

▶ 市内大学や関係団体と連携したイベント、区主催による森でのイベント **382回**



間伐材を活用したクラフト教室/鶴見区



森の中のプレイパーク/南図書館/南区

樹林地の維持管理や安全の確保を市民協働で進めています

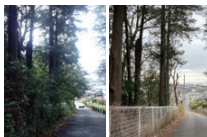
樹林地を良好かつ安全に維持管理するとともに、樹林地所有者に対しての維持管理費用の助成を行いました。

▶ 森の維持管理 **樹林地811か所、公園196か所**

▶ 維持管理の助成 **688件**



保全管理計画や森づくりガイドラインを活用した維持管理/泉区



樹林地所有者に対する維持管理支援作業前後/旭区

市民の森

~計画開始以降16か所の市民の森が開園~

横浜市では1971年に全国に先駆けて、緑地を保存しながら、その緑地を散策や憩いの場として公開する「市民の森」制度を創設しました。「市民の森」は計画開始前の27か所から16か所増え、現在43か所を公開しています。

~ボランティアの皆さんによる良好な森づくり~

市民の森では、愛護会や森づくり活動団体など、ボランティアの皆さんが、草刈り、間伐、生きもの調査や環境教育といった「森づくり活動」を行っています。



池辺市民の森/都筑区

「横浜みどりアップ計画[2019-2023]」計画期間に開園した4か所の市民の森



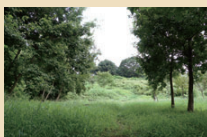
長津田市民の森/緑区
2020年4月1日開園
クヌギやコナラを主とした広葉樹林が残り、コケラやエナガ、シジュウカラなどの様々な鳥が生息しています。



市沢市民の森/旭区
2021年4月1日開園
緑陰や水辺の風景を楽しむながら散策ができるほか、ホテルや鳥類などを観察することができます。



名瀬・上矢部市民の森/戸塚区
2022年3月28日開園
コナラなどの広葉樹林からなる雑木林で、山推治には竹林がみられ、昔ながらの里山の自然景観を楽しむことができます。



今井・境木市民の森/保土ケ谷区
2022年4月1日開園
クヌギやコナラなどの広葉樹林と、スギやヒノキなどの針葉樹林が広がり、尾根道を歩くことで四季折々の緑の風景を楽しむことができます。



計画の柱2

市民が身近に農を感じる場をつくる

良好な農景観を保全しています

市内の水田面積の約9割を保全し、農地縁辺部の草刈りや植栽等、周辺環境と調和した良好な農景観を維持・形成しました。

▶ 水田保全面積 **111.1ha**



水田の保全/青葉区



土砂流出防止対策/都筑区

農とふれあう場や機会が増えています

気軽に農体験ができる収穫体験農園や、自分で考えた栽培プランで自由に野菜づくりを楽しむことができる認定市民菜園など、市民ニーズに合わせた農園の開設を進めるとともに、市民が農について学ぶイベントや講座を実施しました。

▶ 様々なニーズに合わせた農園の開設 **19.8ha**

▶ 横浜ふるさと村、恵みの里等で農体験教室などの実施 **422回**



収穫体験農園/神奈川区



認定市民菜園/磯子区

地産地消が拡大しています

市民が身近なところで地産地消を実感できるよう、直売所・青空市等を支援しました。

▶ 直売所・青空市等の支援 **262件**



みなとみらい農家朝市/西区



柴シーサイド恵みの里直売所/金沢区



計画の柱3

市民が実感できる緑や花をつくる

緑と花の空間づくりを進めています

公共施設や保育園など、市民の身近な場所で実感できる緑を創出・育成しました。

▶ 公共施設・公有地での緑の創出 **39か所**

▶ 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出 **203か所**



横浜子ども科学館/磯子区



保育園での緑の創出/港北区

緑や花で街の賑わいづくりを創出しています

多くの市民が集まる都心部等の公共空間などで、緑や花により街の魅力を向上させ、賑わいづくりを推進しました。

▶ 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくりと維持管理 **71か所**



横浜児童遊園地/保土ケ谷区



山下公園/中区

市民や企業の皆さんと緑と花の取組を全区で進めています

地域が主体となり、地域にふさわしい緑を創出する計画をつくり、実現していくための「地域緑のまちづくり」を推進しました。オープンガーデンなどの市民が緑や花に親しむ取組を各区で推進しました。

▶ 地域緑のまちづくり **23地区**

▶ 緑や花を身近に感じる各区の取組 **18区で推進**



地域の花いっぱいにつながる取組/港南区



緑や花を身近に感じる各区の取組/栄区

よこはまの緑を 未来を担う 子どもたちのために

暮らしを支え、豊かにする緑を未来に残すために、
横浜市は、市民・事業者の皆様「横浜みどり税」をご負担いただき、
緑をまもり、つくり、育む「横浜みどりアップ計画」を進めています。



横浜みどり税について

横浜みどり税の
税額

個人市民税均等割に年間 **900円** を上乗せ

※法人の場合は、年間均等割額の9%相当額を上乗せ

※課税年度は、令和10年度までです。



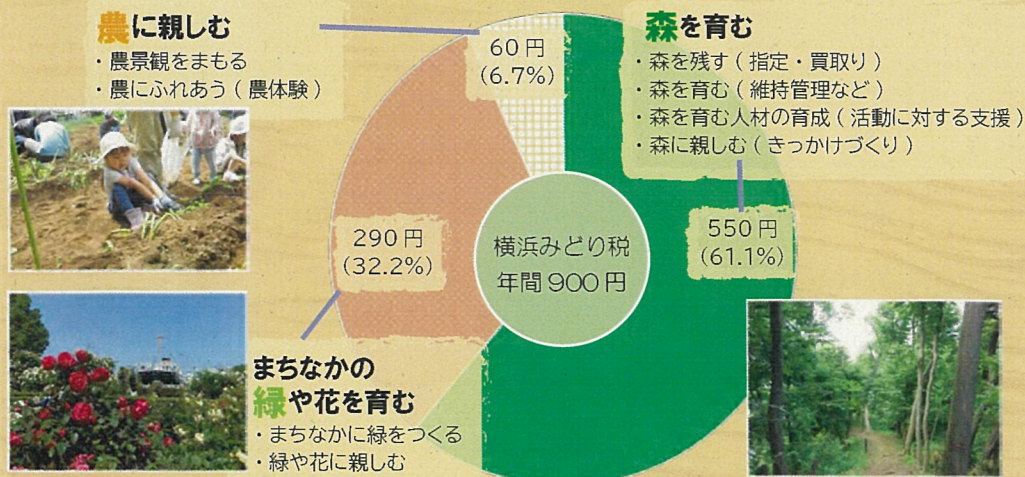
横浜みどりアップ 葉っぱー

横浜みどり税の
使途

「横浜みどりアップ計画」のうち、下記の横浜みどり税の使途に該当する事業へ横浜みどり税を充当します。

- ・樹林地・農地の確実な担保
- ・身近な緑化の推進
- ・維持管理の充実によるみどりの質の向上
- ・ボランティアなど市民参画の促進につながる事業

横浜みどり税（年間900円）の使いみち



横浜みどりアップ計画 [2024-2028]

横浜みどりアップ計画



計画の理念

みんなで育む みどり豊かな美しい街 横浜



5か年の目標

- ・緑の減少に歯止めをかけ、総量の維持を目指します
- ・地域特性に応じた緑の保全・創出・維持管理の充実により緑の質を高めます
- ・市民と緑との関わりを増やし、緑とともにある豊かな暮らしを実現します

みどり税を活用した取組

市民とともに
次世代につなぐ**森**を育む

5か年の主な取組

- 樹林地の新規指定と買入れ申し出への対応
- 指定樹林地への維持管理支援
- 森に親しむきっかけづくり

市民が身近に
農を感じる場をつくる

5か年の主な取組

- 水田保全への支援
- 農園の開設など、農とふれあう機会の全市的な展開

市民が実感できる
緑や花をつくる

5か年の主な取組

- まちなかでの緑の創出や街路樹等による景観づくり
- 地域での緑や花の取組支援
- 子どもを育む空間での緑の創出・育成

市民・事業者の皆様が取組の意義や成果、緑がもたらす効果をわかりやすく伝えることで、取組への共感と、緑のある暮らしの実感につながる**広報**を展開



森林環境税（国税）と横浜みどり税

Q 国の森林環境税と横浜みどり税はどう違うの？



A 目的と使いみちが異なります。

森林環境税は、林業が成り立たない地方の山間部の森林整備や、国産木材の利用促進を主な目的として創設されました。横浜市では、木材利用の促進を図るため、学校施設や公園などの市民利用施設の木材利用工事に活用しています。

横浜みどり税は、市内の緑の保全・創造を目的としたものであり、樹林地の買い取りや、まちなかでの緑の創出などに活用しています。森林環境税と横浜みどり税は、趣旨と使いみちが異なります。

●森林環境税（国税）・森林環境譲与税について

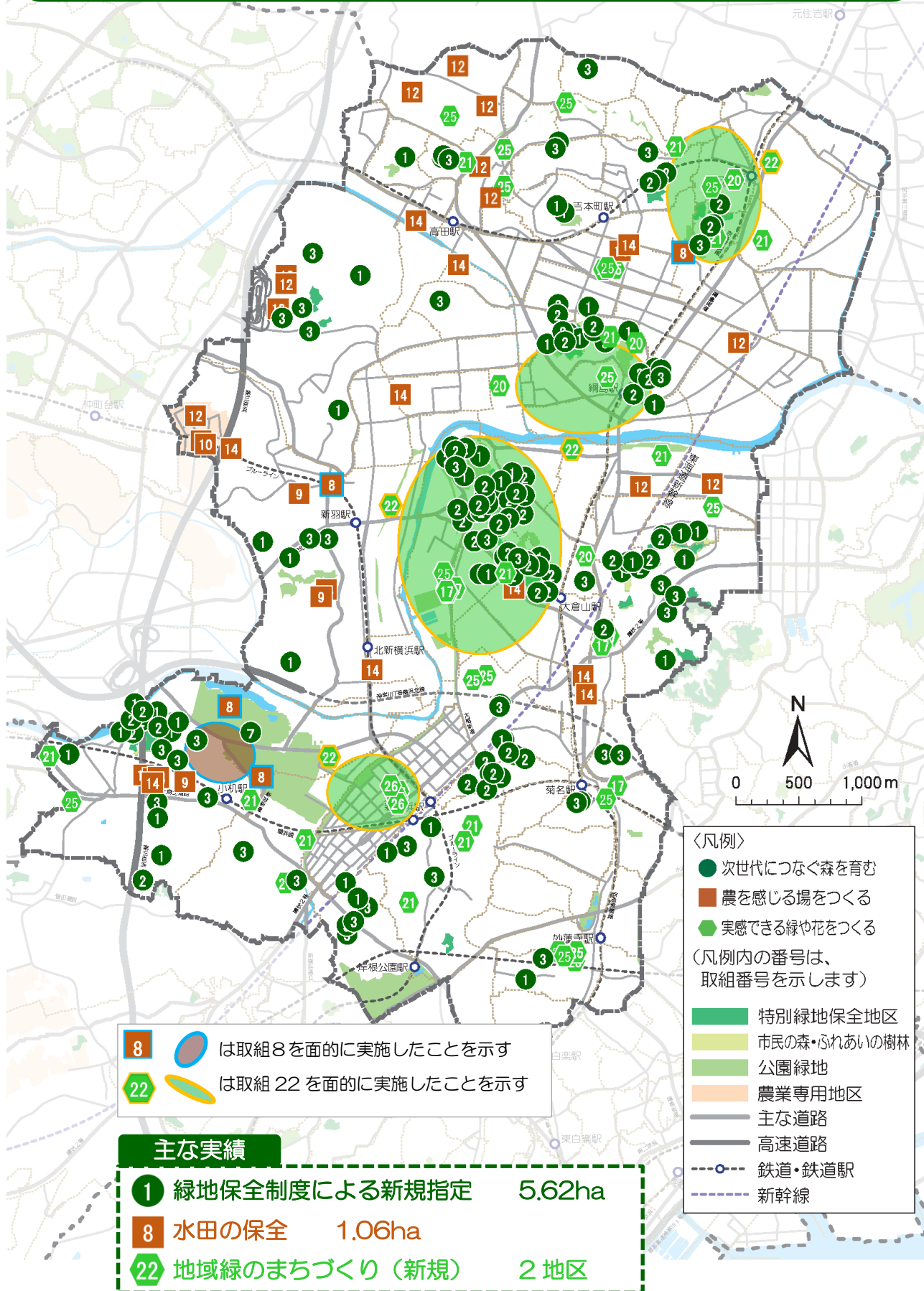
趣旨（目的）	わが国の温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止等を図るための地方財源を安定的に確保するため
課税手法・税率	年間1,000円を個人住民税と併せて賦課徴収
課税期間	令和6年度から
市町村への譲与	国が令和元年度から一定の基準で譲与（令和5年度までは、地方公共団体金融機関の準備金を活用）
使いみち	間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進に関する費用

※このほか、神奈川県では、水源環境保全・再生のために、個人県民税に対する超過課税を実施しています。

【お問い合わせ】

- 「横浜みどり税」について
▶ 区役所税務課 または 財政局税務課 電話：045-671-2253 FAX：045-641-2775
- 「横浜みどりアップ計画[2024-2028]」について
▶ みどり環境局戦略企画課 電話：045-671-4214 FAX：045-550-4093

港北区



計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

○緑地保全制度による新規指定 5.62ha

・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2020年度 0.6ha 大倉山特別緑地保全地区（指定拡大）、綱島特別緑地保全地区（指定拡大）

・市民の森等

2020年度 0.004ha 綱島市民の森（指定拡大）

2021年度 0.02ha 熊野神社市民の森（指定拡大）

・緑地保存地区

2019年度 0.2ha 大倉山六丁目、岸根町、小机町、師岡町

2020年度 1.2ha 小机町、篠原町

2022年度 2.0ha 岸根町、小机町、篠原町、綱島台、仲手原二丁目、大豆戸町、師岡町

2023年度 0.4ha 大倉山六丁目、小机町

・源流の森保存地区

2019年度 0.1ha 新吉田町

2020年度 0.3ha 新羽町（2か所）

2022年度 0.1ha 新吉田町

2023年度 0.2ha 新羽町

・その他

2021年度 0.5ha 熊野神社市民の森

○市による買取り

・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2019年度 2地区 熊野神社特別緑地保全地区、小机城址特別緑地保全地区

2021年度 1地区 大倉山特別緑地保全地区

2023年度 1地区 小机城址特別緑地保全地区

・市民の森等

2019年度 1地区 綱島市民の森

・公園樹林部

2019年度 1地区 高田西公園

○保全した樹林地の整備 20か所

2019年度 4か所 大曽根台特別緑地保全地区、綱島市民の森、綱島東二丁目緑地、大豆戸緑地

2020年度 4か所 大倉山特別緑地保全地区、大曽根台特別緑地保全地区、小机城址市民の森、綱島東二丁目緑地

2021年度 4か所 大倉山特別緑地保全地区、大曽根台特別緑地保全地区、日吉特別緑地保全地区、熊野神社市民の森

2022年度 5か所 日吉特別緑地保全地区、熊野神社市民の森（4か所）

2023年度 3か所 大倉山特別緑地保全地区、小机城址市民の森（2か所）

2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

○森の維持管理 65 か所

・維持管理（樹林地）

2019年度	13 か所	大倉山特別緑地保全地区、大曽根台特別緑地保全地区、日吉特別緑地保全地区、熊野神社市民の森、小机城址市民の森、綱島市民の森、大倉山二丁目緑地、篠原城址緑地、綱島東二丁目緑地、太尾緑地、棒田谷緑地、大豆戸緑地、牢尻緑地
2020年度	13 か所	大倉山特別緑地保全地区、大曽根台特別緑地保全地区、日吉特別緑地保全地区、熊野神社市民の森、小机城址市民の森、綱島市民の森、大倉山二丁目緑地、篠原城址緑地、綱島東二丁目緑地、太尾緑地、棒田谷緑地、大豆戸緑地、牢尻緑地
2021年度	13 か所	大倉山特別緑地保全地区、大曽根台特別緑地保全地区、日吉特別緑地保全地区、熊野神社市民の森、小机城址市民の森、綱島市民の森、大倉山二丁目緑地、篠原城址緑地、綱島東二丁目緑地、太尾緑地、棒田谷緑地、大豆戸緑地、牢尻緑地
2022年度	13 か所	大倉山特別緑地保全地区、大曽根台特別緑地保全地区、日吉特別緑地保全地区、熊野神社市民の森、小机城址市民の森、綱島市民の森、大倉山二丁目緑地、篠原城址緑地、綱島東二丁目緑地、太尾緑地、棒田谷緑地、大豆戸緑地、牢尻緑地
2023年度	13 か所	大倉山特別緑地保全地区、大曽根台特別緑地保全地区、日吉特別緑地保全地区、熊野神社市民の森、小机城址市民の森、綱島市民の森、大倉山二丁目緑地、篠原城址緑地、綱島東二丁目緑地、太尾緑地、棒田谷緑地、大豆戸緑地、牢尻緑地

3 指定した樹林地における維持管理の支援

○維持管理の助成 74 件

2019年度	11 件	菊名五丁目、岸根町（2件）、小机町（2件）、下田町三丁目、綱島台、錦が丘、新羽町、大豆戸町、師岡町
2020年度	14 件	大倉山二丁目、岸根町（3件）、小机町、篠原町、新吉田町（4件）、鳥山町、日吉本町六丁目、箕輪町三丁目（2件）
2021年度	14 件	大倉山二丁目、菊名五丁目、小机町、新吉田町（8件）、新吉田東一丁目、高田西三丁目、師岡町
2022年度	18 件	岸根町（3件）、小机町（4件）、篠原町、下田町三丁目、新吉田町（3件）、高田西三丁目、綱島台、錦が丘、新羽町（2件）、師岡町
2023年度	17 件	大倉山二丁目、大倉山六丁目、鳥山町、岸根町（4件）、小机町（2件）、新吉田町、高田西三丁目、綱島東二丁目、仲手原二丁目、日吉本町六丁目、大豆戸町、箕輪町三丁目、師岡町

計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

8 水田の保全

○水田保全面積 1.06ha

2019年度	1.05ha	小机町、新羽町、箕輪町三丁目
2020年度	1.05ha	小机町、新羽町、箕輪町三丁目
2021年度	1.05ha	小机町、新羽町、箕輪町三丁目
2022年度	1.05ha	小机町、新羽町、箕輪町三丁目
2023年度	1.06ha	小机町、新羽町、箕輪町三丁目

9 特定農業用施設保全契約の締結

○特定農業用施設保全契約の締結 3件

2019年度	1件	新羽町
2021年度	1件	小机町
2022年度	1件	新羽町

10 農景観を良好に維持する活動の支援

○まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

・集団農地維持 11.0ha

2019年度	10.9ha	新羽大熊農業専用地区協議会（港北区・都筑区）
2020年度	11.0ha	新羽大熊農業専用地区協議会（港北区・都筑区）
2021年度	11.0ha	新羽大熊農業専用地区協議会（港北区・都筑区）
2022年度	11.0ha	新羽大熊農業専用地区協議会（港北区・都筑区）
2023年度	11.0ha	新羽大熊農業専用地区協議会（港北区・都筑区）

・農地縁辺部への植栽 5件

2019年度	1件	新羽大熊農業専用地区協議会（港北区・都筑区）
2020年度	1件	新羽大熊農業専用地区協議会（港北区・都筑区）
2021年度	1件	新羽大熊農業専用地区協議会（港北区・都筑区）
2022年度	1件	新羽大熊農業専用地区協議会（港北区・都筑区）
2023年度	1件	新羽大熊農業専用地区協議会（港北区・都筑区）

○周辺環境に配慮した活動への支援

・牧草等による環境対策 1.40ha

2020年度	0.32ha	新羽町（3か所）
2021年度	0.33ha	新羽町（2か所）、日吉本町六丁目
2022年度	0.10ha	新羽町
2023年度	0.65ha	小机町（2か所）、新羽町（2か所）

・たい肥化設備等の支援 2件

2023年度	2件	新吉田東一丁目、新羽町
--------	----	-------------

12 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

○様々なニーズに合わせた農園の開設 0.89ha

・収穫体験農園

2019年度 0.03ha 新吉田町

2020年度 0.11ha 新吉田町（2件）

2022年度 0.14ha 高田町

2023年度 0.04ha 新羽町

・市民農園

2019年度 0.17ha 高田町、樽町三丁目

2020年度 0.16ha 高田町、高田東三丁目

2022年度 0.08ha 高田東三丁目

2023年度 0.16ha 樽町一丁目、綱島東二丁目

14 地産地消にふれる機会の拡大

○直売所・青空市等の支援 15件

・直売所・加工所

2020年度 5件 大倉山三丁目、新吉田町、新吉田東八丁目、新羽町（2件）

2022年度 1件 新吉田東三丁目

2023年度 1件 北新横浜一丁目

・青空市・マルシェ等

2019年度 1件 JA小机農産物直売所

2020年度 1件 JA小机農産物直売所

2021年度 1件 JA小机農産物直売所

2022年度 2件 日吉朝市の会、港北支店 朝市

2023年度 3件 JA小机農産物直売所、港北支店 朝市、日吉朝市の会

計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

17 公共施設・公有地での緑の創出・育成

○緑の創出 2か所

2020年度 1か所 菊名コミュニティハウス

2021年度 1か所 港北区庁舎

○緑の維持管理 8か所

2019年度 2か所 港北区庁舎、港北土木事務所

2020年度 2か所 港北区庁舎、港北土木事務所

2021年度 1か所 港北土木事務所

2022年度 2か所 港北区庁舎、港北土木事務所

2023年度 1か所 港北土木事務所

5 各区の実績
港北区

18 街路樹による良好な景観の創出・育成

○空き樹の補植

2019年度	低木 450 本
2020年度	高木 3 本、低木 50 本
2021年度	低木 735 本

○良好な維持管理

2019年度	環状2号線（鳥山町～大豆戸町）、環状2号線（大豆戸町～師岡町）ほか 計752本
2020年度	環状2号線（師岡町～鳥山町）、宮内新横浜線ほか 計796本
2021年度	太尾新道、早渕川左岸（高田西）ほか 計992本
2022年度	環状2号線（大豆戸町～師岡町）、宮内新横浜線ほか 計492本
2023年度	環状2号線（大豆戸町～師岡町）、環状2号線（新横浜～菊名）ほか 計910本

20 建築物緑化保全契約の締結

○建築物緑化保全契約の締結 4件

2019年度	2件	大曽根一丁目、日吉本町一丁目
2022年度	2件	綱島上町、綱島台

21 名木古木の保存

○名木古木の保存

・維持管理の助成

2020年度	8本	小机町（2本）、樽町四丁目、鳥山町（3本）、箕輪町一丁目（2本）
2021年度	7本	小机町、篠原町、下田町三丁目、高田町（2本）、鳥山町、箕輪町三丁目
2022年度	2本	篠原町、綱島台
2023年度	4本	大倉山二丁目、篠原町（3本）

22 地域緑のまちづくり

○地域緑のまちづくり事業に関する協定の締結 2地区

・新規

2019年度	1地区	綱島西地区
2020年度	1地区	日吉地区

・継続

2019年度	2地区	大倉山地区、新横浜二丁目地区
2020年度	3地区	大倉山地区、新横浜二丁目地区、綱島西地区
2021年度	2地区	綱島西地区、日吉地区
2022年度	2地区	綱島西地区、日吉地区
2023年度	1地区	日吉地区

23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

○緑や花を身近に感じる各区の取組

2019年度	オープンガーデンの開催支援（新型コロナウイルス感染症の影響でイベント中止）、大倉山観梅会
2020年度	オープンガーデンの開催支援、花と木のウォーキングマップ制作
2021年度	オープンガーデンの開催支援
2022年度	オープンガーデンの開催支援、花と木のウォーキングマップ制作、大倉山観梅会
2023年度	オープンガーデンの開催支援、花と木のウォーキングツアー開催、大倉山観梅会

○地域の花いっぱいにつながる取組

2019年度	花の種の配布、花苗などの配布（新吉田第一公園ほか8か所）
2020年度	球根などの配布（市ノ坪公園ほか81か所）
2021年度	花壇づくり講習会（太尾堤緑道）、球根などの配布（市ノ坪公園ほか78か所）
2022年度	球根などの配布（大曽根第三公園ほか80か所）
2023年度	花壇づくり講習会（大倉山公園）、球根などの配布（市ノ坪公園ほか72か所）

24 人生記念樹の配布

○人生記念樹の配布 2,598本

2019年度	454本
2020年度	531本
2021年度	539本
2022年度	565本
2023年度	509本

※過年度の報告書から本数を修正しました。

25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

○緑の創出 14か所

2019年度	2か所	港北保育園、大豆戸小学校
2020年度	2か所	高田東小学校、樽町中学校
2021年度	2か所	港北保育園、大豆戸小学校
2022年度	4か所	菊名保育園、港北保育園、小机幼稚園、南日吉保育園
2023年度	4か所	南日吉保育園、下田小学校、高田小学校、日吉台小学校

○緑の維持管理 9か所

2019年度	3か所	港北保育園、第二尚花愛児園、高田東小学校
2020年度	1か所	高田東小学校
2021年度	1か所	南日吉保育園
2022年度	2か所	港北保育園、太尾小学校
2023年度	2か所	港北保育園、南日吉保育園

5 各区の実績
港北区

26 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり

○緑花による空間づくりと維持管理 5か所

2019年度 1か所 新横浜駅周辺

2020年度 1か所 新横浜駅周辺

2021年度 1か所 新横浜駅周辺

2022年度 1か所 新横浜駅周辺

2023年度 1か所 新横浜駅周辺



1 緑地保全制度による新規指定
緑地保存地区（小机町）



3 樹林地の維持管理の助成
（鳥山町）



8 水田の保全
（新羽町）



14 青空市・マルシェ等
（港北支店 朝市）



25 保育園での緑の創出・育成
（区内保育園）



26 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり
（新横浜駅周辺）